

140 人の力でアフリカに 5 万食の給食を届ける！
1 万枚の「おにぎり写真」で世界を変えるクラウドファンディング達成！
世界食料デー記念企画「おにぎりアクション 2016」
READY FOR?で 100 万円のクラウドファンディングを達成(追加協賛・寄付募集中)

日本発、世界の食料問題の解決に取り組む特定非営利活動法人 TABLE FOR TWO International (東京都港区、代表 小暮真久/以下、TFT) は、国連が定めた 10 月 16 日「世界食料デー」(世界中の人が食べ物や食料問題について考える日) を記念し、おにぎりの写真投稿が開発途上国の給食になる「おにぎりアクション 2016」を 11 月 30 日まで開催しています。本キャンペーンは、おにぎりの写真を SNS または特設サイトで投稿すると、1 枚の写真投稿につき給食 5 食分の寄付をアフリカ・アジアの子どもたちにプレゼントできる取り組みで、開始後 3 週間で既に 4 万枚を超える写真が投稿されています。これはアクション開始前の想定数を大きく上回り、既に協賛金の上限に達しそうな状況であることから、個人の方からのご寄付を募集するクラウドファンディングを開始しました。開始後 16 日間で 140 名の方に温かいご寄付をいただき、目標金額 100 万円を達成しました。これは「おにぎりアクション 2016」の写真投稿 1 万枚分にあたり、アフリカ・アジアの子どもたちに 5 万食の給食を届けることができます。今後は次の目標を 300 万円に設定し、引き続き“日本から世界を変える”本アクション継続のためのご寄付を募っています。



特設サイトや、#OnigiriAction をつけて SNS 上に投稿された写真

◆著名人も参加、社会の注目を集める

10/11～11/3 までの 3 週間で、特設サイトは 28.4 万を超える PV(ページビュー)数を獲得し、SNS 上では Twitter, Instagram を中心におにぎり写真の投稿がシェアされ、社会から注目を集めています。また、以下の著名人の皆様も、おにぎりアクションにご参加くださいました。

・小泉進次郎議員がご自身の Facebook でおにぎりアクションにご参加 (10 月 31 日)

<https://www.facebook.com/shinjiro.koizumi/posts/1227877760616720>

・ディーン・フジオカさんがご自身の Twitter, Instagram でご参加(10 月 19 日)

https://www.instagram.com/p/BLvXEbNh_gY/

・小川菜摘さん (10 月 18 日)



<https://www.instagram.com/natsumi1230/>

・石井正則さん(アリ to キリギリス) (11月3日)

<https://twitter.com/masanoriishii/status/794179941407436801>

・サンプラザ中野くん、森葉子さん、澤田汐音さん、瀧川英次さんが番組内でご参加(10月21日)

<https://www.facebook.com/tft.jp/posts/1242142719181420>

◆引き続き協賛・寄付を呼びかける

“日本の食で世界を変える”本アクションは、大きな反響を呼んでおり、開催期間中に追加協賛の金額を上回る写真が投稿される見込みです。アクションの継続を目的として、10月17日より個人の方からご寄付を募るクラウドファンディングを開催中で、今回140名の皆さまにご支援をいただき、第一目標金額としていた100万円を達成いたしました。このご寄付は、本アクションの写真投稿1万枚にあてられ、ルワンダ バンダ村の子どもたちに5万食の給食が届きます。次の目標として、300万円を目標にご寄付を募ります。300万円のご寄付は、写真投稿3万枚にあてられ、合計15万食の給食が届きます。引き続き企業からのご協賛も募集中です。

プロジェクトページ：<https://readyfor.jp/projects/tablefor2>

READYFOR?

ログイン 新規登録

寄付型クラウドファンディング
READYFOR Charity

ルワンダ・バンダ村の230人の幼稚園児に5万食の給食を届けたい！

Next Goal 挑戦中

小暮真久 (TABLE FOR TWO 代表)

寄付総額	1,074,000円
目標金額	3,000,000円
第一目標金額	1,000,000円
寄付者数	145人
残り日数	12日

107%

このプロジェクトに寄付する
(※ログインが必要です)

◆日本の食「おにぎり」で、気軽にアクションに参加できる仕組み

おにぎりを作り、または購入し、「いただきます！」写真(注1)を#OnigiriAction を付けて SNS(Facebook, Instagram, Twitter) 、または TFT の特設サイトに投稿すると、参加者に代わり協賛企業が1枚につき100円を寄付し、アフリカ・アジアに給食5食を贈ります。写真投稿分の寄付は、協賛企業・支援者から寄付されます。(特設サイト <http://jp.tablefor2.org/campaign/onigiri/>)

◆日本人の生活に身近で、愛をこめて握る「おにぎり」で気軽に寄付

本おにぎり企画は昨年に続き2回目の開催となり、去年は世界中から5,000枚を超える写真が投稿され、25,000食の給食を届けました。おにぎりは、大切な人のために愛をこめて握る機会が多く、たくさんの人にとって温かい思い出やエピソードを持つ食べ物です。TFTは日本発、世界の課題に取り組むNPOとして、日本の代表的な食であり、誰かのために愛を込めて握る「おにぎり」に、アフリカ・アジアの子どもたちへの想いも込めて参加してもらいたい、と考え「おにぎり」をシンボルフードに選びました。本取り組みを通じ、個人の参加者、民間企業、NPOが一体となって、「おにぎり」をシンボルに世界を変えるアクションを起こします。



昨年投稿された写真のグローバルマップ

◆共感した企業が給食寄付

写真投稿への協賛企業として、日本から伊藤園、ますやみそ、リコー社会貢献団体 FreeWill など 8 社、米国に拠点を置く企業 11 社の計 19 社が参加しています。現時点では、写真約 57,000 枚分の協賛が集まっています。(注 2)

(注 1) 「おにぎりアクション 2016」のおにぎり写真について

「おにぎりの写真」「おにぎりを握っている写真」「おにぎりを食べている写真」など、おにぎりに関連する写真であれば、制限を設けません。

(注 2) 引き続き協賛企業を募集しています。アメリカからの協賛については、TABLE FOR TWO USA を通じアフリカ・アメリカの給食支援に繋がります。

◆世界の食料問題「肥満人口 20 億人」と「飢餓人口 10 億人」を一気に解決

現在、世界 70 億人のうち、先進国では肥満人口が 20 億人、開発途上国では飢餓人口が 10 億人います。TFT は、生活習慣病などの飽食の問題と飢餓問題の同時解決を目指しています。気軽に社会貢献とメタボ予防ができるという一石二鳥な取り組みが人気を呼び、TFT の活動に 9 年間で累計 4,194 万人超が参加、4,194 万食超の給食を贈りました。



上記以外にも、以下をご取材頂けます

- ◆ TFT 事務局長 安東迪子またはキャンペーン責任者へのご取材
- ◆ 参加企業の店舗や社員食堂、大学食堂、ご担当者へのご取材

NPO 法人 TABLE FOR TWO International について (<http://jp.tablefor2.org/>)

2007 年 10 月設立。“TABLE FOR TWO”を直訳すると「二人のための食卓」。先進国の私たちと開発途上国の子どもたちが食事を分かち合うというコンセプトの下、社員食堂や店舗で TFT ヘルシーメニューを購入すると、代金の内 20 円が寄付となり、飢えに苦しむ世界の子どもに給食 1 食分をプレゼントできる。これまで企業や官公庁、大学、病院など約 650 団体が参加。気軽に社会貢献とメタボ予防ができるという一石二鳥な取り組みが人気を呼び、約 4,194 万食をアフリカのウガンダ、ルワンダ、エチオピア、タンザニア、ケニア、アジアのミャンマー、フィリピンに届けた。